

## 上田見二先生の定年退職に寄せて

この度 英文学科の上田見二先生が定年を迎えられる。「光陰矢のごとし」・月日の立つ早さを感じ、とても寂しいものです。

私は国文学科の卒業生ですが、上田先生ぬきでの その後の人生を語ることはできません。野球部の選手時代・そして監督時の恩師でもある初代野球部長・故加藤柔郎先生の遺言と言っても過言ではない、次期 野球部長の要請を快く引き受けてくださり、約20年間もの長きにわたり、野球部長を努めてくださり未熟な監督・井手口を支えていただきました。

我々の野球部は、九州地区大学野球連盟に所属し、春と秋に全国大会をかけた予選大会と九州六大学、福岡六大学、そして九州地区連盟のそのほとんどが参加して行われる九州地区体育大会（九州インカレ）があるわけですが、平成6年6月の九州インカレ「初優勝」。(上田部長47才・井手口38才) 3年後の平成9年10月秋季の九州地区選手権の「初優勝」も、ともに上田部長とのコンビで達成することができました。福岡ドームでの晴れ舞台等、お互いに忘れることの出来ない人生の喜びがありました。上田部長同様、その時代の選手達とは、今でも、交流が続いており、昔話に花を咲かせています。

特に、平成6年のインカレにおいて、優勝する事が出来た瞬間は、上田部長と共に喜び、涙がとまらなかつたことが昨日のように思い出されます。

平成11年11月大学野球部初の海外親善試合も上田部長と共に、部長のご指導のもと、準備万端の海外遠征でした。相手チームの韓国の東義大学校は野球部強化を図る強豪チーム。結果は、二戦二敗。親善試合とは名ばかり、



優勝を決めた後の歓喜の「監督胴上げ」! (1994年・平成6年6月29日)

—— 今はなき 平和台球場 ——

本学の幹部の先生は敗戦がよほど悔しかったのでしょうか・・・その後、上田部長には、いろんな苦情（井手口監督失格）などが寄せられていたと今でも拝察できますし、いろんな事で私をフォローしていただいたことを感謝しています。

翌年、東義大学校野球部来訪時の親善試合では、雨のため一試合しかできなかったが勝つことが出来、前年の借りを返すことが出来ました。その後で上田部長と祝勝会を行い、あの時ご馳走していただいたうな重の味は一生涯忘れることはありません。

又、平成14年8月、一時監督を退任するときも、親身になって私の体調を気に掛けていただき、精神的にも立ち直ることができました。

上田部長への感謝と思い出は尽きることはありません。

上田先生これからもご健康に留意され、野球観戦にお越し頂き、お元気なお姿を拝見できることを楽しみにしております。

本当に有り難うございました。そして、長い間ご苦勞様でした。

別府大学野球部監督 井手口 謙二



第44回九州地区大学体育大会(インカレ) 初優勝記念 平成6年6月29日

優勝記念写真 中央の白い服が上田見二野球部長 その左が井手口  
(1994年・平成6年6月29日 平和台球場)